

2024 年度新入園・入学の申し込み開始！転入も随時募集中（教育人事部）

アメリカで日本語学習を続けることは容易ではありません。「補習校は宿題が多い、勉強が大変」などと、ついお友達につぶやいてしまうこともあるかもしれません。しかし皆様もご存じの通り、ワシントン日本語学校では「共働学習」という学習法が成果を挙げています。また入学式や大運動会、卒業式といった伝統的な日本式のイベントがあり、何より日本語で話すコミュニティで子供も保護者もお友達を作って日本語を話すことができるという魅力があります。大変だけれどその分実りも多く、同窓生の多くが日本語を学んできて良かったと話してくださいませ。ぜひ、新入園新入学のお子様や転入学を考えているお子様がいらっしゃるご家族に日本語学校の良いところをお伝えください！！入学申し込みは[こちら](#)から。

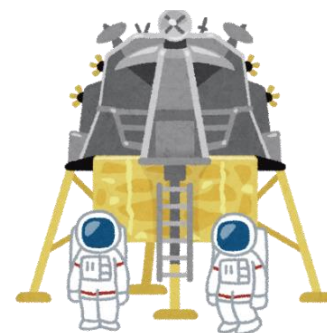
サイエンスサロン: 宇宙エンジニア、宇宙ビジネスのすゝめ（総務部）

放課後活動の一環として実施しているサイエンスサロン。今回は「宇宙エンジニア・ビジネスのすゝめ(全2回)」の「ビジネス編」を開催します。第1弾は「宇宙エンジニア編」と題して、ロケットや衛星、ロボットの研究・開発について、将来の月惑星探査に関する内容で、大変好評をいただきました。

第2弾では、政策・法律・事業といった「宇宙ビジネス編」となります。未来の宇宙活動を支える人材を本校から輩出するきっかけになるかもしれません。ご参加をお待ちしております！

【第2弾 ビジネス編】

日時: 12月16日(土) 15:40~16:40 対象: 小学部6年生、中高生
場所: 聖心SR校2階280教室 定員: 20名程度
講師: 成田伸一郎さん(本校保護者) 費用: 無料
参加申し込み: <https://forms.gle/S2U3KZQd1faXoxyh9>
問合せ先: 総務部 (somu@wjls.org)



【募集中！】創立65周年記念事業「未来を創れ！」作品集にご応募ください

創立65周年記念事業「未来を創れ！」の一環として、生徒の皆さんの作品を募集しています。締め切りを12月31日までに延長いたしました。お子様の豊かな感性を発表する機会として、本創作活動への参加をぜひご支援ください。



作品イメージ

※応募作品は
許可を頂いて掲載しています

☆1人レターサイズ1枚までなら、何作品でもまとめて応募することが可能です。
(応募はお1人1枚です)

絵と詩、習字と俳句短歌等、ぜひ組み合わせての参加もお待ちしています！

【応募資格】 幼稚部から高等部までの本校在校生徒

【応募期間】 9月9日(土)～12月31日(日)

☆応募方法等、詳細については本校HP [創作活動特設サイト](#)をご覧ください。

お問い合わせは [65周年記念事業実行小委員会](#)まで。

【本日開催】一緒に応募作品を作ろう！（65 周年記念事業実行小委員会）

創作活動に応募したいけれど、機会が無くて出来ていないといったご家庭を対象に、ワークショップを開催いたします。ぜひ親子でご参加ください。お待ちしております。

【日時】12月9日（土）15時～16時半 【持ち物】なし（但し汚れても良い服）

【場所】入口B前テーブル（入口C横） ☆防寒対策をお願いいたします。

【問い合わせ先】創立 65 周年記念事業実行小委員会 (65th@wjls.org)



本校生徒が市村アイデア奨励賞を受賞！（総務部）



ビビー暁さん

ワシントン日本語学校では、放課後活動の一環としてサイエンスサロンを開催しています。今回活動の一つとして発明アイデア発想を行い、今年 9 月に小中学生 12 名が「市村アイデア賞」に応募しました。その結果、ビビー暁さん(小 6)が「ビニールスリ開け君」という発明で、「市村アイデア奨励賞」を受賞し、先月東京の科学技術館で開催された授賞式に参加しました。市村アイデア賞は、昭和 45 年から実施されている歴史のあるコンテストです。ビビーさんの発明は、応募総数 32,688 件の中から選出された、素晴らしい結果です。

受賞作品は、スーパーなどのビニール袋を簡単に開けることができる発明で、お母さんが普段スーパーでビニール袋を開けるのに苦労しているのを見て思いついたそうです。授賞式では来賓の方々ガスピーチで、学校での勉強だけではなく、自分で考えることの大切さについて子供たちに語り掛けていたとのこと。大勢の前で賞状を受け取るなどビビーさんにとって初体験であり大変緊張したようですが、他の受賞者の話を直接聞き、現地で発明作品の展示を見たことはかけがえのない経験になったことでしょう。



奨励賞受賞作品
「ビニールスリ開け君」

総務部員の振り返り

独創的なアイデアは優しさから生まれたと同時に、見た人を笑顔にしてくれるものでした。一方でアイデアを生み出し、それを形にするという作業は困難な挑戦のように思えますが、ビビーさん自身がその過程をとっても楽しみながらできたということです。今回のアイデア賞への応募では、残念ながら受賞には至らなかったものの、他の子供たちからの提案内容も素晴らしく、大人が常識だと思って見逃していることを見つけ出し、自由な発想でその解決方法



授賞式にて

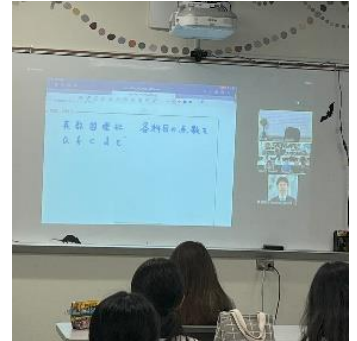
法を形にすることの重要さと楽しさを改めて感じさせられました。ピカソは生前、「子供は誰でも芸術家だ。問題は大人になっても芸術家でいられるかどうかだ」という言葉を残しています。子供たちが生まれながらに持っている想像力を損なわず育ていくために、どのようなことができるのでしょうか。大人は時に常識にとらわれ、失敗を恐れて楽しむことを置き去りにしてしまうことがあります。しかし、成功の反対は決して失敗ではなく、正解のない世界を切り拓いていくことはドキドキするけど楽しいものであるし、限らない想像力こそが新しい未来を創造していく力になっていくのだということをサイエンスサロンなどのイベントを通じて伝えていきたいと思っています。

サイエンスサロンでは、今後も子供たちが生き生きと学べる場を作っていく予定です。活動が続けるためには保護者のボランティア（講師・指導員）が必要です。興味がある方は総務部(somu@wjls.org)までご連絡ください。

放課後中学数学講座、絶賛開講中です！（みらい共育小委員会）

11月第1週から開催中の放課後中学数学講座は、今日で前期5回目を迎えます。管理運営委員会のみらい共育小委員会が中心となり、日本在住で[マスゼミ](#)代表の[林俊介](#)先生と放課後の教室をオンラインで繋いで受講するという、日本語学校としては初の試みです。前期はほぼ満席となる、小学5年生から高校2年生までの計19名でスタートしました。

毎週どんな授業が展開されているのか、少しご紹介します。授業ではまず、前週の宿題内容解説やクラス内での宿題得点分布などを先生が総括した後、今週の例題、練習問題、発展問題へと進んでいきます。先生の説明を聞くだけでなく、各自で問題に挑戦する時間がところどころで設けられ、その間には受講生同士で問題の解き方を話し合う様子も見られます。テンポよく進む授業に、放課後の1時間があったという間に感じられます。また、毎週授業後には宿題が出ますが、翌週の日本時間木曜日まで提出すると、グーグルクラスルームを通じて、よく説明ができていた点、ここが改善できていたらもっと良い答案になるという、具体的な解説と共に採点・返却されます。林先生からのメッセージと参加した生徒の感想をご紹介します。



双方向的な授業展開で
受講生の理解度を高める



無学年の講座なんてうまくいくの？……と思ったそのあなた！
本講座の受講生はみな意欲的に授業に参加し、宿題にも精一杯取り組んでくれています。
宿題の答案の質が毎週向上しており、驚かされてばかりです。

Q. 放課後中学数学講座の好きなところは？

難しい課題に友達と一緒に取り組めるところ。提出した宿題の良いところと悪いところをととても細かく教えてもらえる。（中2）

新しいことを習えている。（小5）

普段学校でやらないような問題に挑戦できる。（高1）



学年を越えて受講生が解き方を話し合えるのも魅力

みらい共育小委員会が目指したのは、現在開講されていない科目や講座に対する日本語学校コミュニティの中でのニーズを吸い上げること、そして講座実施に当たって必要となるツールやロジスティックスを試行してみること、の2点でした。今回のマスゼミ数学放課後講座の開講と実施を通じて、これらの目標は達成できたと感じています。みらい共育小委員会の今後の取り組みに役立てるため、こちらの[アンケート](#)から皆さんの開講希望科目などのご意見を、12月31日（土）までにぜひお聞かせください！

【おまけ】挑戦してみましょう！

第1回講座の宿題に挑戦してみませんか。 [第1回宿題.pdf](#) 講師による宿題解説資料（講座で配布されたものと同じ）をご希望の方は、12月16日（土）までにみらい共育小委員会宛メール（mirai.kyouiku@wjls.org）でご連絡ください。なお、みらい共育小委員会では、宿題の内容に対する質問にはお答えできません。また、答案用紙を送っていただいても講師による答案の採点は出来かねますので、ご了承ください。

親子で振り返る管理運営委員の経験

管理運営委員会には、様々な分野で高い専門性を持つ委員やバラエティに富んだ経歴を持つ委員が数多く集まっており、学校運営を通して多様性を感じたり、新しい出会いや学びがあったり、貴重な体験ができます。本稿では、今年10月の年次総会をもって総務部を退任した瀬尾学さんに、ユニークな視点で経験を振り返っていただきました。

元管理運営委員の瀬尾と申します。保護者の皆様の中には、運営委員に興味があるけど積極的に手を挙げるほどではない、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。個人的な経験に基づく話ではありますが、運営委員になることで思いもしなかった経験をすることができ、また実は子供たちへ良い影響があったのではないかと感じています。そのような経験を皆様にも共有したく、息子（現在中3）と対談を試みましたので、どうぞ笑覧ください。

親：父親が運営委員をすることで良かったことってあるかな？

子：お手伝いに参加したりして、どのように学校が運営されているのか裏側が知れた気がする。

親：運動会は朝から晩まで手伝わなくちゃいけなかったから大変だったね。

子：でも、最後にはみんなで写真を撮って、達成感があった。



運動会では運営委員の子供たちも準備や片付けに協力

親：運営委員会の打ち上げでは、男女・学年問わずにみんなで仲良く遊んでいたね。

子：人狼なんかをみんなでやっていた。

友達（他の運営委員の子供）と仲良くなるきっかけになって良かった。

親：サイエンスサロンの立ち上げも、後押ししてくれたね。

子：先生になることに興味があったから。普段のお父さんとは違う姿が見られたのも良かった。

親：スライドもだいぶダメ出しをされたね…

子：言葉遣いが難しかったから。でも、だいぶわかりやすくなったと思う。



打ち上げて仲良くなった瀬尾元委員と河野委員の息子たち



サイエンスサロンの立ち上げに尽力した瀬尾元委員

親：もし、まだ運営委員をやっていなくてやろうかどうか迷っていたら、やってほしいと思う？

子：共通の話題も増えるし、やってほしいと思う。

管理運営委員会では、来年3月から4月にかけて複数の委員が退任するため、学年代表を含むすべての部署で2024年度より新たに運営委員を務めてくださる方を募集しています。本校の保護者で、日本語で行われる運営委員会での話し合いを理解できる程度の日本語を身につけていれば、国籍・人種・性別等を問わず原則としてどなたでも参加できます。特に米国の法律に詳しい方、IT（情報技術）に詳しい方の応募をお待ちしています。「興味がある」という方はもちろん、「もう少し詳しく話を聞きたい」という方も uneiiinkai@wjls.org までお気軽にご連絡ください。



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

ワシントン日本語学校ツアー（1回目）を実施しました！（みらい共育小委員会）

去る11月11日に、新入学を検討されているご家族を対象に、ワシントン日本語学校ツアー（1回目）を開催いたしました。新幼稚部・新1年生への入学を検討されているご家族の皆様と、幼稚部・1年生のクラスを見学したのち、上級生のクラスの様子もご覧いただきました。蔵書1万3千冊の図書館の充実ぶりに、参加者の皆様の驚きと、参加されていたお子様から「わたし、この本も、あの本も読みたい！」といったお声もいただきました。入学面接に関することや運動会・入学式などのイベント、幼稚部での言葉の学習、共働学習についてなど、ワシントン日本語学校の魅力を精一杯お伝えしました。4月に学校で再会できることを楽しみにしています。



このツアーについて、お知り合いの方にお伝えくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。引き続き、ワシントン日本語学校の魅力増進と発信をご支援ください。12月16日にも2回目の学校ツアーを予定しています！お問い合わせは、みらい共育小委員会 mirai.kyouiku@wjls.org まで。

委員長からの報告



各地から雪の便りも届く季節となりましたが、皆様、お変わりございませんか？

さて、12月2日に行われた月例管理運営委員会では、三原校長の校務報告に続き、パートナーシップ部設立に向けた議論と青い封筒募金キャンペーン等についての相談がありました。また、年度末に向けて全校アンケートと次期学年代表とコーディネーターの募集開始、来年度に向けて2024年授業日一覧・運動会、さらに悪天候時オンライン授業における保護者確認事項等についての報告がありました。

悪天候時オンライン授業につきましては、今年度から悪天候時にも生徒の皆さんの学習の機会をできるだけ確保するために、規定に従ってオンライン授業を提供することにしています。昨年度は悪天候時での休校は幸運にもありませんでしたが、今年度も悪天候とならず、対面授業ができることを祈っています。

本年も残りの授業日が本日9日も含めて2回となりました。この1年大変お世話になりました。

どうぞ良いお年をお迎えください。2024年が皆様にとってより良い年になりますように。



委員長： 辻川扶紀
副委員長： 小寺友美
総務部： 松林拓磨（部長）・大杉真名美・竹村聡子・鶴見圭祐・松田真実
財務部： グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部： 大島由美子（部長）・片田順子・栗原美恵・塩崎桃子・福島加代子
広報部： 河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表： 大島千枝（低学年代表）・向山こずえ（中学年代表）・島未知子（高学年代表）

